

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2024年6月6日時点)

➤ **露軍が各正面で攻勢を強め、ウクライナ全土に対するミサイル・無人機攻撃を継続する一方、ウクライナ軍は火砲や砲弾、防空ミサイルなどの不足に直面する中で防御戦闘を継続**

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約12万人、負傷者約18万人 (NYT23年8月18日)

: 死者約18万人 (ゼレンスキー大統領24年2月25日)

: 死傷者50万人以上 (英国防省24年5月31日)

「ウ」軍: 死者約7万人、負傷者約12万人 (NYT23年8月18日)

: 死者3.1万人 (ゼレンスキー大統領24年2月25日)

「ウ」市民: 死者10,000人以上、負傷者1万8,500人以上 (UN23年12月4日)

- シルスキー「ウ」総司令官は、露がハルキウ州**ボウチャンスク**や**ストリレチャ**から**リプツィ**付近で**部隊数を増加**させているが、同戦力は**大規模な攻勢をしかけるには不十分**であると表明(5月30日)
- 露国防省は、ドネツク州**ウマンスコエ**村を**解放**したと発表(6月2日)
- 「ウ」副首相は、**西側諸国が供与した兵器**を使用して、**露領内**にある「**S-300**」を攻撃した旨発表(6月3日)
- 米メディアは、「ウ」軍が**HIMARS**により、**ベルゴロド州**で**露ミサイルランチャー**を破壊したとの「ウ」議会の**チェルネフ副委員長**の発言を報道(6月4日)

- 「ウ」大統領府顧問は、米からの軍事支援の**一部は前戦に届き始めている**とする一方、まとまった規模で届くには**数週間かかる**と発言(5月29日)
- 米国務長官は、**バイデン大統領**が「ウ」に対し、**米国が供与する兵器**を使用して、ハルキウ防衛のために**露領内を攻撃**することを**許可**した旨発言(5月31日)。ゼレンスキー大統領は、「**ATACMS**」**長射程ミサイル**による露領内への攻撃を米国は許可するべきであると発言(6月2日)
- ゼレンスキー大統領は、2日までの**1週間**で、露軍が「ウ」に対して、多様なミサイルや航空機投下爆弾、無人機による攻撃を**1,000回近く実施**したと発言(6月2日)
- 伊外相は、「**SAMP/T**」**防空システム**を含む、新たな対「ウ」支援を準備していると発言(6月3日)
- 蘭国防相は、自国が提供予定の**F-16戦闘機**による**露領内への攻撃**を認める旨発言(6月3日)

- 「ウ」情報総局は、「ウ」軍が、露軍の補給に使用されている**クリミア半島**の**ケルチフェリー乗り場**を複数発の**ATACMS**で攻撃し、フェリー×2隻に大きな損害を与えたと発表(5月30日)
- 「ウ」空軍は、露軍が**Kh-101/555**×35発、「**イスカンデル-M**」×4発、「**イスカンデル-K**」×1発、「**カリブル**」×1発、**Kh-59/69**×3発、**Shahed-131/136**×47機からなる**大規模攻撃**を実施と発表。「ウ」エネルギー相は、**ザポリッジャ州**、**ドニプロペトROWSK州**、**ドネツク州**、**キロヴォフラード州**や**イワノ・フランキウスカ州**にある**エネルギー施設**が**攻撃**されたと表明(6月1日)。「ウ」電力会社は、複数の火力発電所及び水力発電所に被害が発生と表明(6月2日)
- 「ウ」特殊作戦軍は、露の最新レーダーと考えられる「**Kasta-2E2**」**移動式レーダー**を破壊したと発表(6月3日)

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- ☀ 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ☀ ウクライナ軍が奪還した地域



国土院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等